

の。対 例有（ っいるい程人足取的け
 した。 障害をみあ多一てのののにの極続た
 かし調 障害痛でにヒッ害型別後積き
 者たと の症の小順中わ障厚で生と履か
 費う状 別の指最の、かの肉の発%てな
 消よ症 靴種小でル倍かそはた害8しぎ
 し、 あり、6、7-8、係れ障が慢過
 ち、 握し、り、1.6、0.7-3.8、のし我に
 立把握し、あに1.2%がイが大の見靴直は%
 目ら調 も件43.2%折ハルにいとがた手人4
 がかて (43.2%折ハルにいとがた手人4
 れたい 87.4%、(43.2%折ハルにいとがた手人4
 ののを。は 験しれ立一ハ害発る害害、とは
 性生法た者 経靴が一ハ障く障障%は棄
 能発題み 験を、)ロながなていの0.7。廢
 機害宿を 経害り、)少さ係しすら0.7。廢
 て障紙係の 障た、)ルの高関加やれがい
 べを用 関係のわ(13.8%一度のは増しこのて
 比かトの 障件に(ヒ頻ルにが生。もっ
 なる一と、6 例み中用一齡状発たた違
 ンあケ等 内1.6 症痛、使ヒ年症等べしく(29.9%)
 イがン性 の人20のとは、はくつ調換し
 ザ題ア(特) 一で裏る率り率引立く交著る
 デ問にの%と 足見生な生長目し、とあ
 らの生靴 66例折、を発と発やが詳品品て
 か性大た 率27(骨)係に倍害状)を返商い
 さ能子し 収11ら%関逆4 障症%係ての置
 浅織女 生回はか 16.3%のと0.4、い42、関っ他に
 のなび 発(容れ 16.3%のと0.4、い42、関っ他に
 史う及の 人内づ(種らルまりみらを数か
 歴よ生 害437 害靴この照一 治痛れム小履
 はの座 障437 害靴この照一 治痛れム小履
 靴ど講 び者の例、と態一たっ根、レめか
 人。人及 答そ症め容実ロし従けみクわ
 婦い 婦性回、。ま内用、示に付試はき
 ；多；特； 件た)害使倍を令のを法は
 目的が 法の果 721い)障の3と加指測方法
 不 満方 者結 721い)障の3と加指測方法
 象 はし 16.2%靴1.3こは親計い方
 たが がる 度に型扱なる